競技注意事項（案）

**１　競技について**

（１）本競技会は、２０２２年日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項によって運営する。

（２）競技者招集について

　　ａ 招集場所は、本競技場第２ゲートに設ける。

　　ｂ スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻１時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。

　　ｃ 競技者本人がアスリートビブス、競技用シューズのピンおよびシャツ・バッグ等の商標チェックを受け、最終点呼を受けること。ただし、２種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。

　　ｄ 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。

ｅ 欠場をする場合は、招集開始時刻までに招集所に置いてある「欠場届」に必要事項を記入し提出すること。

　　ｆ 棒高跳の競技者は「支柱移動申込用紙」（招集所においてある）を競技役員に提出すること。

　　ｇ 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。

　　ｈ 混成競技においては、１日目、２日目の第１種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第２種目目以降は混成控室にて点呼（トラックは競技開始の２０分前、フィールドは４０分前）をとった後、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成競技者控室は、本競技場地下１階トレーニング室に設ける。

（３）アスリートビブスについて

　　ａ 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した２枚のアスリートビブスを付けなければならない。跳躍種目の競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。

　　ｂ トラック競技に出場する競技者は、大会本部が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。800m以上のレースおよび4×400mRの第４走者は左右両腰に腰ナンバー標識を付ける。

ｃ 1500ｍ以上のレースについては、大会本部が用意するレーンナンバーのビブスを使用する。

ｄ 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に｢1｣｢2｣｢3｣…と順位を示す大会本部が用意するアスリートビブス（胸のみ）を使用する。

（４）トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則１６２条の規定通りとする。

（５）スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき９㎜以下とする。また走高跳及びやり投の場合は１２㎜以下とし、ピンの数は１１本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は４㎜四方の寸法に適合するように作られていなければならない。

（６）シューズの靴底（ソール）の厚さについて（WA規則第１４３条ＴＲ５に準ずる）

　　ａ シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。

ｂ トラック種目について、800ｍ未満の種目（4×100mR、4×400mRを含む）は２０mm以下、800m以上の種目は２５mm以下とする。ただし、競歩については４０mm以下とする。

　　ｃ フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳び25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。

※日本陸連競技規則に準ずる。

（７）組・走路順および試技順について

　　ａ トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。

　　ｂ トラック競技における決勝の走路順は番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。

（８）リレ－競技について

　　ａ リレ－のオ－ダ－は、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、各組の招集完了時刻の１時間前までに招集場に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。

　　ｂ リレ－に出場するチ－ムは、同一のユニフォ－ムを着用すること。

（９）跳躍競技のバーの上げ方について

　　下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。

　　１位の決定を要するときは、棒高跳は５㎝・走高跳は２㎝の上げ下げによって決定する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 走高跳 | 男子  女子 | 練習1m70　1m90  練習1m40　1m50 | 1m75　1m80　1m85　1m90　1m95　 以後3㎝  1m45　1m50　1m55　 以後3㎝ |
| 混　成  走高跳  （２ピット） | 八種 | 練習1m40　1m60 | 1m45 1m50 1m55 1m60 1m65 1m70 1m75 1m80 1m83 以後3cm  ２ピットとも同じ高さから開始する |
| 七種 | 練習1m10　1m30 | 1m15 1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 1m35 1m38 以後3cm  ２ピットとも同じ高さから開始する |
| 棒高跳 | 男子  女子 | 練習3m50　4m00  練習2m30　2m70 | 3m60　3m70　3m80　3m90　4m00　4m10　　以後10cm  2m40　2m50　2m60　2m70　2m80　2m90　　以後10cm |

※　三段跳の踏切板は、砂場まで男子１２ｍ、女子９ｍとする

※　棒高跳の練習はゴムバー使用

（10）フィールド競技について

　　ａ フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に２カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを１つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

　　ｂ コーチングエリアを設ける。そのエリア以外での助言等は禁止する。

（11）助力について

　　　　競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助力については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ・レコーダー・ラジオ・ＣＤ・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技区域内で所持または使用することはできない。

（12）競技用具について

　　　競技場備付のものを使用する。ただし、棒高跳用ポ－ルは、検査の上私物の使用を許可する。

　　　検査所　　　棒高跳・・・当該跳躍場

**２　表彰について**

　　　各種目とも８位までの入賞者は成績発表後、本部前で表彰を行うので受彰者控所に集合のこと。

（競技役員の指示に従うこと）

**３　応援について**

（１）競技に支障のあるような応援はしないこと。特に集団応援は感染症対策のため禁止とする。

（２）手拍子応援等はサイド、バックスタンドの２階席スタンドで行うこと。フィールド競技（混成競技も含む）の予選については競技進行上、手拍子応援を求めない。

（３）ホームストレート延長線上のサイドスタンドでのテント設営、横断幕、のぼり旗は禁止する。

（４）横断幕・のぼり旗などの応援布は芝生スタンドより上のフェンス及び手すりのみ許可する。

（５）メインスタンドでのテント設営は禁止とする。

（６）テント等の待機場所は、指定以外の場所は禁止とする。

**４　応急処置について**

大会期間中の事故については本競技場医務室にて応急処置のみ行う。怪我等への対応のみとし、発熱等内科的処置は行わない。

**５　その他**

（１）競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。規定外のものは見えないようにテープを貼って対処すること。

（２）トラック種目の衣類運搬について

100m・200m・1500m・3000ｍ・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100ｍRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの第1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。

（３）メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。競技終了後は第１ゲートから出てスタンドの外側を通ること。ただし、フィールド競技が終了し競技役員誘導の退場の際や、入賞者は通路を通って表彰者席へ誘導する。

（４）本競技場の開場について

１０月２１日（金）は１０時１５分、２２日（土）・２３日（日）は７時００分とする。

（５）学校受付は、富山県総合運動公園富山県陸上競技場正面スタンド入口にて下記の時刻で行う。

　　１０月２１日（金）　１０：００～１７：００

　　１０月２２日（土）～２３日（日）　８：００～１７：００

（６）本競技場の場所取り（メインスタンド下コンコース）は各県別に区切って割り当てる。

（７）写真・ビデオ等の撮影については受付で撮影許可証を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。